

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和８年度第５回戸田市外部評価委員会 (施策６ 芸術文化活動の推進)
開催日時	令和８年８月７日（金）１０時３０分 ～ １２時０１分
開催方法	５０１会議室
出席者氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 委員 濱田 和輝 委員 田中 治夫 委員 宮崎 仁美 委員 饗場 順子 委員 須永 由美子
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	市民生活部 野崎次長 文化スポーツ課 金澤課長、梅島主幹 生涯学習課 中沢課長、本橋主幹
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 藤田主任 大原主事
議 題	１ 外部評価委員紹介 ２ 担当部局紹介 ３ 外部評価ヒアリング
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	１ 次第及びタイムテーブル ２ 施策評価シート及び事務事業評価シート ３ ロジック・モデルシート ４ 事前質問及び回答

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
	1 開 会 2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。 3 担当部局紹介 評価対象施策担当部局の紹介を行った。 4 外部評価ヒアリング ○施策の概要 概要説明を行った。 ○事務事業の妥当性、施策指標の妥当性 須永委員 高齢化や会員数の減少に伴い、芸術文化活動の担い手が減少することもあると考えられるが、例えば中学校や高等学校との連携等、具体的に行っていることがあれば教えてほしい。 担当部局 文化芸術推進基本計画の策定時にも上がった課題である。直接的な手立てはまだ見出せていないが、活動へのハードルを下げるべく、今まで芸術に触れたことのない人をターゲットとして芸術に関する教室を開催したり、音楽の分野では、文化会館において市民が発表できる場を設けたりしている。 長野委員 本施策が紐づいている総合振興計画の基本目標Ⅱは「創造性や豊かな心を育むまち」である。また、戸田市文化芸術推進条例第11条には、「市は、教育、子育て、健康、福祉、産業、観光、環境等の分野において、文化芸術を活用することで、課題の解決及び地域の活性化を図り、魅力あるまちづくりの推進に取り組むものとする。」と記載されている。 神保町の「古書店のまち」というブランドや、和菓子が有名なまちにおける商店街の和菓子店を育てるなど、地域の特色を生かした取り組みがある。商店街の活性化と芸術文化事業をシナジーさせるような枠組みはあるか。

担当部局	例えば、子育て世代を対象としたコンサートを開催している。芸術文化の分野に関しては他部署との連携を含めた多面的なアプローチが考えられるが、本施策の中心部署として、文化スポーツ課が中心となって取り組みを推進している。
長野委員	例えばジャズバンドの活動をしている人が店舗等で発表したい場合、使用料を補助する制度などはあるか。商店街振興と芸術文化の掛け合わせはキーワードになると思う。
担当部局	そのような補助制度はないが、商店会でコンサートを開催したり、企業と福祉センターが連携してベビーコンサートを開催したり、個々の連携事業は実施している。
佐藤委員長	令和7年度に戸田市文化芸術推進条例が制定されたが、制定に伴って新たな事業が生まれたのか、それともこれまで実施してきた事業を条例に位置付けているのか。
担当部局	後者である。
佐藤委員長	令和8年度に策定した文化芸術推進基本計画に基づいて、新たに開始する事業はあるか。
担当部局	文化芸術に関する個別の情報が収集しづらいという課題に対し、情報の一元化を図る。また、市内に眠っている芸実家に活躍いただくべく、アーティストバンクを開始する。
佐藤委員長	庁内の各部署で実施している芸術文化に関する取り組みについては、文化スポーツ課が司令塔となって、庁内委員会を立ち上げて統括等すべきではないか。
長野委員	文化会館の指定管理先は、競争入札を経て決定したのか。

担当部局	指定管理者である戸田市文化スポーツ財団は、戸田市が指定管理者制度を導入する前から長年に渡って安定的に文化会館の管理運営をしてきた経緯なども踏まえ、随意契約を締結した。
長野委員	競争入札でも良いと思うが、なぜ戸田市文化スポーツ財団と随意契約を締結したのか。随意契約に当たり、このような専門性を発揮してほしいという、質の部分をもどのように条件設定したのか確認したい。
担当部局	文化会館では以前から芸術に関する様々な取り組みを行ってきたが、当館は、市民にとってハードルが高い点が課題であり、市民がより参加しやすい施設にしていくことを文化会館に求めた。その上で、戸田市スポーツ財団がこれまで積み重ねてきた実績や提案が合致し、随意契約で引き続きお願いすることとなった。
長野委員	芸術作品の見せ方にどのような哲学やメッセージ性を持って発信していくのか。例えば、学芸員の配置等も契約に盛り込んでいるのか。
担当部局	利用のしやすさを高めると同時に、クラシックイベント等の開催で質の高さを確保することで、市民の満足度を上げていく。質の担保については、契約締結前のプレゼンテーションの中でしっかり評価した。なお、学芸員の配置等は仕様に盛り込んでいない。
濱田委員	事前質問に関連して、事務事業評価シート「文化財保護事業」の目標達成状況として、「文化財に関する講座の受講者数」が令和6年度を除いて目標に達していない。講座内容は毎年度異なるのか。
担当部局	幅広く参加者を募るべく、講座内容は毎年度変えている。令和7年度は2回開催し、考古学の観点から室町時代・戦国時代の集落をテーマとした講座と、土器の拓本に関する講座を開催した。
濱田委員	受講対象は学生か。

担当部局	年齢に制限は設けず、幅広く募集している。
濱田委員	幅広い層をターゲットにすることは有用である一方、年齢によっては専門的な内容は理解できない場合もあると思う。例えば年次を絞った上で、ニーズに基づいた講座内容を検討することもよいのではないか。
担当部局	今後の参考とさせていただく。
饗場委員	戸田市でしか見られない貴重な文化財があれば教えてほしい。
担当部局	戸田市内には埼玉県指定文化財として、美女木にある美女木八幡社の銅鐘、新曽の妙顕寺にある日蓮上人の関係の書跡（日蓮上人墨跡及び日向記）、荒川水系の川漁で使われた漁撈用具^{ぎょうろう}の3つがある。いずれも地域で昔から伝わるもので、3つ目の漁撈用具は、荒川の下流域で行われた川漁の大型の魚を捕る際に使われていたものであり、今では作ることはできない貴重な民俗資料である。 また、戸田市指定文化財としては、地域の寺院や神社に伝わるものや、江戸時代の渡船場の様子を示す文書などがある。渡船場の様子を示す文書は、全国的にも希少なものであり、専門家の研究に活用されることもある。なお、文化財は郷土博物館で所蔵しているものと、寺院や神社、あるいは個人で管理されているものがある。
饗場委員	他の自治体の文化財を直接見に行き、参考にすることもあるのか。
担当部局	全国には歴史や郷土資料を扱う施設が数多くあり、以前は現地に行かないと実物を確認できなかった。しかし、現在ではインターネットで各地の文化財等を閲覧できるサービスがあり、戸田市も参加し、活用している。
宮崎委員	以前入手した、戸田市の「広報戸田・特集号 戸田の歴史と文化」を個人的に気に入っているが、現在もこのような冊子は発行されているか。また、市民にはどのような方法で文化財を広めているか。

担当部局	教育委員会が作成した文化財地図「史ある記マップ」があり、県指定及び市指定の文化財等を、写真と解説入りで掲載している。現在も、公共施設に紙媒体のマップを配架しており、戸田市デジタルアーカイブで誰でも無料で閲覧可能である。戸田市は郷土博物館と市立図書館が複合型の施設となっており、図書館の指定管理者と連携してデジタルアーカイブのシステムを取り入れている 「史ある記マップ」を活用した活動としては、ボランティア団体「戸田歴史ガイドの会」が、市内の史跡や自然を巡るまち歩きツアーを開催している。また、公民館や図書館の分館でも市内の文化財巡りイベントにも活用している。
宮崎委員	市内の史跡を巡りたい場合、どのようにしたら情報が得られるか。
担当部局	「史ある記マップ」を活用していただきたい。戸田市デジタルアーカイブにて無料公開しており、公共施設にマップを配架している。
宮崎委員	個人で芸術活動を行っている人もいるが、資金援助の対象は団体だけなのか。
担当部局	市は、戸田市文化協会を通して、加入している団体へ補助金を分配したり、戸田市美術展覧会実行委員会への補助を行ったりしているのみである。また、市が直接助成しているわけではないが、戸田市文化会館音楽祭にて、個人で発表する人は補助金の対象となっているはずである。
長野委員	豊島区で行っている漫画家個人への投資のような事業は行っていないのか。
担当部局	現状は行っていない。
須永委員	第5次総合振興計画後期基本計画策定時の協働会議に参加した際、芸術面においては戸田ボートのようなシンボリックなものがないという話が出たか

	と思う。以前はこどもミュージカルを開催していたが、現在は開催されていない。 面としての施策ではなく、点としての施策になっているように感じられ、市のブランディングとして残念である。「戸田と言えば〇〇」というような、戸田のイメージとなるようなコンテンツがあると良いと思う。参加する人が限定されがちなクラシックばかりではなく、幅広い人が関心を持つエンターテインメントで戸田が活性化されることを願う。
担当部局	第九コンサートは市民参加型のイベントとして、市が仕掛けたイベントである。市民発生的なカルチャーがまちづくりにつながることは認識しており、市民発信の取り組みを支援するような事業展開は重要な視点であると考ええる。
須永委員	戸田橋花火大会や戸田マラソンなどのイベントも、面ではなく点で実施しているように感じるので、各イベントが連携するとよいと思う。
長野委員	横浜市では市歌を学校で覚えさせているように、戸田市においても教育課程で記憶に定着させるような取り組みを行っているか。
担当部局	県単位では「彩の国21世紀郷土かるた」が教育課程でも活用されており、認知度も高いが、市単位でそのようなものはない。 市内小学校3年生及び6年生は、郷土博物館で道具の体験学習と展示見学を行っている。しかし、小学生では「文化財」という言葉が、そのような学習活動とリンクしにくいいため、認知度の向上に寄与していない可能性もある。
長野委員	施策指標「文化財の認知度」は目標値を大幅に下回っているが、かなり厳しい目標設定だったのではないか。目標設定の根拠を教えてほしい。
担当部局	目標を設定した令和2年度時点では、生涯学習に特化したアンケートとして「生涯学習に関する市民意識調査」を実施しており、過去の結果や推移を参考にして目標を設定した。「生涯学習に関する市民意識調査」を実施しないことになった以降は、市民生活全般を問う「市民意識調査」において同じ

	設問項目を設けており、令和５年度及び令和７年度の実績は同調査の結果である。
佐藤委員長	「生涯学習に関する市民意識調査」は郵送でアンケートを実施していたか。
担当部局	調査票を郵送する形で実施していた。
佐藤委員長	アンケートでの設問内容に変更はあったか。
事務局	変更はなく、「戸田市の文化財を知っている」という項目について、「おおいに当てはまる／当てはまる／あまり当てはまらない／当てはまらない」の４段階で調査を実施した。
宮崎委員	○資源の方向性、その他 市管理の文化財と個人管理の文化財があると思うが、個人管理をしている人に対して補助金は支給しているか。
担当部局	文化財の数としては個人管理の方が多く、市指定文化財については年間１万円、埼玉県指定文化財にては年間２万円補助している。
宮崎委員	該当する事務事業を教えてほしい。
担当部局	「文化財保護事業」の中で行っている。
佐藤委員長	事務事業評価シート of 目標達成状況の活動指標には講座開催数しか載っていないので、このような補助事業の活動指標も入れるとよいと思う。
長野委員	戸田市文化芸術推進条例の施行や文化芸術推進基本計画策定に伴った予算の増加はあるか。
担当部局	義務的な経費の増加はないが、計画の推進に当たり、政策的に予算を増や

	すことはある。
長野委員	戸田市文化会館の指定管理に係る管理運営費については、光熱水費の増加を見込んだ計画額が施策評価シートに掲載されているのか。
担当部局	令和８年度に指定管理を更新した際は、近年の経費上昇を加味して予算を計上した。
佐藤委員長	戸田市文化芸術推進条例の施行や文化芸術推進基本計画策定に伴った義務的事業の実施はないとのことであったが、新規事業は行っているのはいか。その場合、施策評価シートの事業費の計画額が今後も同程度であるのは、一部の事業をスクラップしたということか。
担当部局	文化芸術情報の一元化やアーティストバンクの立上げを新たに行うが、今後投入する金額の見通しが立っていない。そのため、施策評価シート上は同規模の計画額を設定しているが、今後増額することはあり得る。
佐藤委員長	前期基本計画と後期基本計画で、施策指標に変更がない。「文化財の認知度」は妥当であると思うが、他２指標は事務事業レベルの成果指標となっている。後期基本計画策定の際の議論を教えてほしい。
担当部局	文化芸術分野として２つの事務事業があり、これらの取り組みが実施されることで、施策が推進されるという認識に基づき、設定した。
佐藤委員長	市民の芸術文化に対する関心を高めることが施策の目的であり、市民参加の高低が重要な指標になると思う。
長野委員	前期基本計画では、新たな芸術文化活動を行うコミュニティ形成の支援や戸田市文化会館の利用満足度を高めることが取り組みの方針に掲げられていたが、達成されたか否かをどのように判断したらよいか。
担当部局	施策評価シートには記載されていないが、戸田市文化会館の利用満足度は

	指定管理報告書で把握しており、9割以上の人が満足しているという結果が継続的に得られている。個別の事業に関するアンケートも実施しているが、結果はホームページ等で公表していないため、今後の課題としたい。 コミュニティ形成については、市民参加型事業を行い、そこで新たな出会いや活動が起こることを狙いとしており、コミュニティの形成自体にフォーカスした事業は行っていない。 5 閉 会
--	--